

平成 26 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	04	01	02	0402	健康教育相談事業(とりまとめシート)	
総合計画	分野	暮らし				
	政策	2-6	健康づくりの推進			
	施策	1	健康づくりの支援			
目的	健康づくりの意識啓発					
対象	市民全般					
意図	各種健康教育、健康相談等を通して、市民の健康づくりの意識啓発を図る。					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
<p>○出向き型の健康講座である健康アップ講座や、地域や団体からの受託健康講座の実施。</p> <p>○各事業の共通テーマとして「脳卒中予防」を挙げ、一貫性のある健康情報の普及に努める。</p> <p>○個々の健康管理の一因として健康手帳の交付。</p> <p>○自殺予防対策の一環としてのゲートキーパー養成講座等の開催。</p> <p>○生活習慣病の早期発見と発症予防のため「健康づくりフロンティア事業」を継続実施するとともに、同事業で得た家庭血圧測定の有効性等を全市へ波及（事業の一部を東北大に委託）。</p> <p>○健康づくりの意識啓発に寄与する「適切な医療情報の提供」の機会として保健大学を実施（事業の一部を花巻市医師会に委託）。</p>						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		
		後援・協賛		補助・助成		
事業協力・協定						
委託						
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①	コンビニ等を利用した普及啓発	枚	計画		8,000	
			実績		10,300	
②	各種健康教育の開催	回	計画		100	
			実績		171	
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①	自分自身が心身ともに健康だと思う市民の割合	%	目標	72.0	72.0	
			実績	58.3	60.7	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり	○ 目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
【H26成果指標の設定根拠】 本事業の意図である「市民の健康づくりの意識啓発」は、個々の健康感に影響を及ぼすと推察される。そのため、定点調査および各年齢層の無作為抽出である市民アンケートの「心身ともに健康であると思う市民の割合」の質問項目において健康感の確認を行うものである。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	『健康増進法』に基づいた事業であり、市が市民の健康意識の向上のために実施することは妥当である。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	心身ともに健康だと思う市民の割合が減っている。(H23年度69.5%→H26年度65%) 高齢化の加速も一因と言えるが、事業実施の方法等更なる工夫を行う必要がある。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	より効果的な事業展開のため、健康アップ講座等の集団向け事業に加え、生活習慣病発症の危険度の高い個別対策を開始した。しかし、マンパワー不足の補完等課題も多いため、削減の余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	各種の健康講座、保健大学、自殺予防事業は一般市民を対象としている。健康づくりフロンティア事業については、事業で得た有効な情報を市民全般に波及できるため適正である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
<input type="radio"/> 適正である		
総合評価 …上記評価結果の総括		
<p>健康づくりの意識啓発を市全域に波及させる目的で、平成25年度より出向き型健康講座である「健康アップの講座」を開始した。加えて、従来からの地域・各種団体からの受託健康教育も継続し、どちらも好評であり、集団へのアプローチは成果を得ている。</p> <p>今後は、生活習慣病発症の危険度の高い市民への個別対策を強化するとともに、地域や医師会等関係団体の協力を得ながら、健康づくりの意識啓発に努めていく必要がある。</p>		

平成 26 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-T	事業名
一般	04	01	02	0402	健康教育相談事業(とりまとめシート)

単位：千円

		25年度 決算額(A)	26年度 決算額(B)	27年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		8,819	5,400		△ 3,419
財源内訳	国・県	1,631	1,901		270
	地方債	500	600		100
	その他	81	126		45
	一般財源	6,607	2,773		△ 3,834

事業期間	○ 単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---------	------	-----------------

部経営方針における目標

健康づくりへの支援と地域医療を充実し健康づくりを推進します。

事業開始の背景・経緯

『健康増進法』に基づく市町村の責務であり、同時に、市民の健康づくり推進を目的とする『健康はなまき21プラン』の推進のため開始。

事業概要

○出向き型の健康講座である健康アップ講座や、地域や団体からの受託健康講座の実施。
 ○各事業の共通テーマとして「脳卒中予防」を挙げ、一貫性のある健康情報の普及に努める。
 ○個々の健康管理の一因として健康手帳の交付。
 ○自殺予防対策の一環としてのゲートキーパー養成講座等の開催。
 ○生活習慣病の早期発見と発症予防のため「健康づくりフロンティア事業」を継続実施するとともに、同事業で得た家庭血圧測定の有効性等を全市へ波及（事業の一部を東北大に委託）。
 ○健康づくりの意識啓発に寄与する「適切な医療情報の提供」の機会として保健大学を実施（事業の一部を花巻市医師会に委託）。

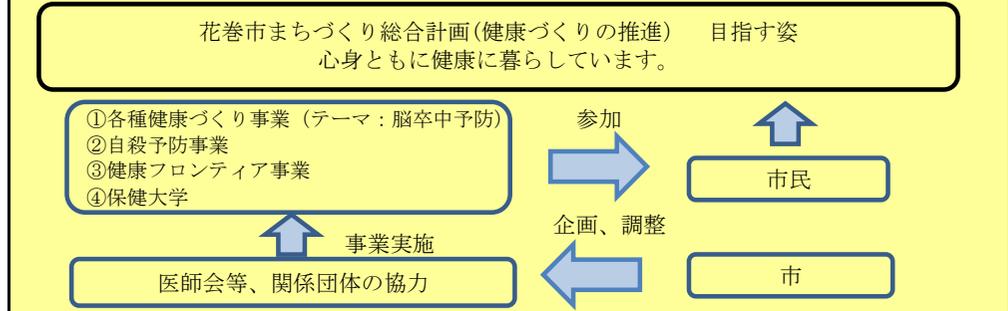
事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

市民全般の健康づくり意識を効果的に向上させるため、現行の事業を精査し、今後の事業展開の在り方を検討する必要がある。
 また、高齢化の進展等に伴う医療費や介護保険料の増加抑制にむけ、当市の重要な健康課題である『脳卒中予防』を軸とした系統的な事業展開に努める必要がある。

担当部署 部名 健康福祉部 課名 健康づくり課 担当係長 久保田和子 内線 390

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



1 各種健康づくり(テーマ：脳卒中予防)事業 H25 3,459千円 → H26 2,727千円 (+732)

- ①健康アップ講座(出向き型健康講座)
- ②各種健康教育
- ③各種健康相談
- ④健康運動教室
- ⑤健康手帳の交付
- ⑥訪問指導
- 【新規】生活習慣病の重症予防対策(受診勧奨等)

2 自殺予防対策事業 H25 628千円 → H26 739千円 (-111)

- ①心の健康講座
- ②ゲートキーパー養成研修会
- ③庁内会議
- 【新規】メンタルヘルスチェックシステム「心の体温計」運用

3 健康づくりフロンティア事業 H25 587千円 → H26 766千円 (-179)

生活習慣病の早期発見と発症予防を目的とし実施。事業効果の向上のため、各種検査・分析等、事業の一部を東北大学に委託。
 【対象：大迫地区】昭和62年当時の旧大迫町の健康課題対策として開始し、継続実施

4 保健大学運営委託事業 H25 1,100千円 → H26 983千円 (+117)

健康づくりの意識啓発に寄与する「適切な医療情報の提供」を目的に実施。運営にかかる調整等、事業の一部を花巻市医師会に委託。

5 障がい福祉課分 H25 0千円 → H26 185千円 (+185)

精神保健業務の所管変更により、配当替え
 11節 2細節 燃料費 実績 28千円(予算額 33千円)
 14節 3細節 自動車借上料 実績158千円(予算額162千円)